

からしだね通信

13号 (2011年夏)

京都市東部精神障害者地域生活支援センター【からしだねセンター】

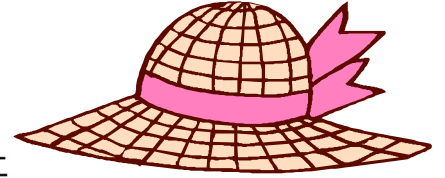
TEL 075-574-2800

就労継続支援B型事業所【からしだねワークス】

TEL 075-574-4455

【発行】社会福祉法人ミッションからしだね
〒607-8216 京都市山科区勤修寺東出町75番地
TEL 075-574-2800 FAX 075-574-0025
e-mail karashidane@able.ocn.ne.jp

URL : <http://www.karashidane.or.jp/>



カフェ
トライアングル

「心しばを縛ってよいのか」

社会福祉法人ミッションからしだね

理事長 坂岡隆司

先日、大阪府議会が、学校などでの君が代斉唱時の起立を義務付ける条例を可決しました。公務員としての規範の問題であり当然だと知事は言っているようですが、果たしてどうなのでしょう？そもそも日の丸・君が代については、昔から内心の自由の問題に関わって論争があり、裁判にもなっています。日の丸や君が代に対する感覚や思い、これはいろいろな歴史的な経過や事情もあって、同じ日本人でも人によって様々です。幸か不幸か、ただこれが現実です。いわばそうした心の思いを表現する振る舞いを、法律や条例で一律に強制するというのは、これはいったいいかがなものでしょうか。多くの方々が疑問を投げかけていますが、私もやはり違和感を覚える者の一人です。

だいたい人にはいろんな考え方、感覚があります。良いか悪いか、正しいか間違っているかは関係なく。それがあるからこそ、その人がまさにその人になるわけで、これこそ人間の尊厳に関わることです。そうであるならば、もっとこの部分に対する畏（おそ）れや慄（おの）きがあってもよいのではないのでしょうか。たとえば問題が「敬意」であるとします。起立すれば表面的には敬意を表したことになるのですが、実際はそんなに単純なものではありません。むしろ、問題をややこしく、見えにくくしてしまわないでしょうか。賛成であれ反対であれ、自由に議論してこそだと思うのですが、何となくものが言えなくなってしまうのではと心配です。人間性に対する横着で乱暴な扱いは、必ずどこかでしっぺ返しを食らうものです。

いま日本では、障害者差別禁止法の制定が予定されています。障害があっても人間として差別されることは断じてあってはならないことですが、では何が差別なのか、どういうことを指して平等というのか、必ずしも簡単な話ではありません。下手をすると法律が勝手に一人歩きしてしまい、思ってもいないのに差別だと決め付けられることもあり得ます（罰則によって差別を無くしていくアプローチが実際あまり機能しないと言われるのはそのためです）。あるいは、“権利の暴走”が起きたりします。誰も怖くて止められません。そうしてますます人々は押し黙り、形だけの「平等」に走る。・・・こうなると、いよいよ閉塞した不幸な社会といわざるを得ません。



グリーンカーテンに挑戦中

縛られない心の自由。これがなんと言っても大前提です。

からしだねセンターよりご報告

からしだねセンターでは、病気によって「生活のしづらさ」を抱えている方の相談やサポートを行い、その人が望む生活を応援しています。昨年度の相談支援事業では、利用者ご自身が持つておられる力を十分に発揮し、地域で主体的に暮らしていられることを常に念頭においてお手伝いさせていただきました。来所や電話だけでなく、メール等でもご相談いただきました。

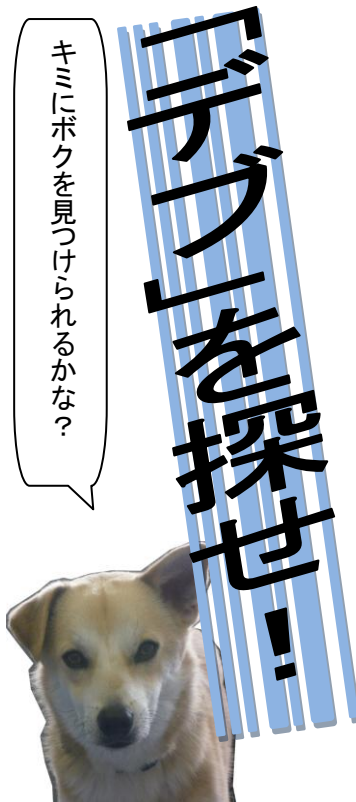
地域活動支援事業では、利用者にはさまざまな交流や社会参加の機会を提供したり、地域住民の方々に向けていろいろな企画を実施しました。カルチャースクールでは、昨年度は地域にお住いの方に講師となっただき、当センターの利用者も参加し、良き交流の場になったように思います。

今年度は昨年に引き続き利用者支援の充実と地域交流活動に力を入れ、さらに職員の専門性の向上に努めてまいりたいと思います。

- ① 利用者支援においては、
 - ・利用者がそれぞれに与えられている才能や能力を存分に発揮できるように環境を整備するとともに必要に応じて精神面でのサポートをする。
 - ・「できないこと」に目がいき、自信をなくしてしまう傾向にある利用者に対し、「今できること」をいかに活かして自分の生活を豊かにすることができるか、を一緒に考える。
 - ・最近の傾向として、従来の精神障害のある方から発達障害や高次脳機能障害のある方のかかわりが増えていいる。そうした幅広い対象へのアプローチができるよう、知識や援助技術のスキルアップを図る。
- ② 域交流活動については、
 - ・公開講座やイベントの企画・運営に、なるべく多くの利用者に参加していただくとともに、一層主体的にかかわっていただくようにする。
- ③ 専門性の向上については、
 - ・施設内スーパービジョンや研修を充実させる。
 - ・資格取得の促進。

どうぞ、今年度もからしだねセンターをよろしく願いいたします。

さて、硬い話はさておき少し「箸休め」。ウォーリー……いやいや、『デブを探せ〜〜〜〜〜』。



* 答えは、3ページの下です。

(イラスト: 西川加世子さん)

★センターニュースより……

今回は2011年7月号をご紹介します。毎月いろいろな内容でプログラムを実施しています。また7月9日(土)には「発達障害の理解と支援」というテーマで公開講座も開催します。

7月プログラム予定表 (プログラムは都合により変更することがあります。ご了承ください) 相談受付 平日 9:30~17:30 土曜日 11:00~15:00

日	月	火	水	木	金	土
7/10	11 13:30~15:00 音楽プログラム	12 13:30~15:00 三好さんの 日本茶講座 ○冷煎茶○	13 13:30~15:00 折り紙か布で折りの 巨大アートを作ろう —東北大震災復興に 私たちができること—	14 11:00~創作 13:00~16:00山登り ○稲荷山○ 動きやすい恰好で、 水分・菓子類は各自で、 申込はスタッフから階 談話室にある申込用紙で。	15 13:30~15:00 健康管理 ☆香りを楽しむ!ト	16 休 み
17	18 休 み	19 13:30~15:00 ウォーキング	20 13:00~14:30 鶴海さんの 90分クッキング (ドライカレー) ※材料費として 100円お支払頂きます。	21 11:00~15:00 創作 ※創作では筆をかいり 刺し子したり、折り紙を 折ったり…と、それぞれ 自由に創作活動をしてい ます。ご興味のある方は ぜひお越しください。	22 13:30~15:00 大人のための常識とマナー ※普段聞けない、知っている つもりで知らない…そんな マナーから1ランクアップを 目指すマナーまでを、月1で 行っています。	23 13:30~16:30 カラオケ (利用者交流会) シタックス山科店で2時間の 予定です。交通費の他に カラオケ代が一人600円 必要です。ドリンクバー付き。 飲食物持ち込みNGです。 参加希望はスタッフから階 談話室にてご記入お願いしま す。ドタキャンご連絡ください
24	25 13:30~15:00 折り紙か布で折りの 巨大アートを作ろう —東北大震災復興に 私たちができること—	26 13:30~15:00 松浦のアート&クラフト 必須持ち物 Qカッター Qハサミ	27 13:30~15:00 コミュニケーション ☆考える力☆	28 11:00~創作 13:30~15:00 書道	29 13:30~ 一泊キャンプ&登山 (事前申込者のみ) ※14:00以降閉館。 お気を付け下さい。	30 ~16:00 一泊キャンプ&登山 ※終日閉館
7/31	8/1 センターニュース発行 13:30~15:30 映画鑑賞 「ロケみつ(稲垣早紀の 関西縦断ブログ旅:後半) ※前半での皆さんの反響に よって内容を変更することがあります。 変更の場合は 「アトーク(笑)にすぎません」。	2 13:30~15:00 ぼんやりor読書or脳トレ ○ぼんやりするもよし。読書するも よし。脳のトレーニングするもよし。 ※読書の場合は本をご持参くださ い。脳トレはこちらで用意します。	3 14:00~16:00 山科ころのふれあい 夏まつり 場所:山科アスニー(ラクトC棟2階) 内容:販売・喫茶・ゲーム・お茶席 (パルンアート)るまん山科合衆 「元気そでふれい」の和風ダンス 観者:各自でご参加OKです。場所が 不安な方は13:30当館集合です。	4 11:00~ 創作 13:30~15:00 図画工作 必須持ち物 Qカッター Qはさみ	5 13:30~15:00 茶道	6 休 み

第6回からしだね公開講座

困った子供を叱る親

講師 山口香代子氏
(京都市立東総合支援学校 副教頭) — 発達障害の理解と支援 —

「発達障害かな?」チェックリスト

- やるべきことを先延ばし
- 時間に遅れる
- 人の話を聞かない
- 人付き合いがうまくできない
- 場の空気が読めない
- キレやすい
- 落ち着きがない
- 片づけられない

日時 7/9 14:00-16:00 (土) (13:30受付開始) (7/2(土)申込締切)

場所 からしだね館地下ホール (地図裏面参照)

備考 ・定員40名(定員になり次第締め切り)

・参加費 無料

主催 社会福祉法人ミッションからしだね

プログラムに参加した利用者の感想を紹介します。

ウォーキング：暑かったけれど風が吹いたときは涼しく、緑もきれいでした。たっぷり汗もかきました。久しぶりのセンター利用で今日はよく眠れそうです。

書道：楽しかったです。またダメ出しの嵐でした(笑)先生にほめられたら嬉しいんですけどねえ。でもここはダメって言われると今度こそはと思って書いている自分がいました。負けずギライなんで(笑)もっとうまくなってやります!!!

クッキング：ヘルパーさんにハンバーグを作ってもらった時、それを見ていると「難しそうだな」と思っていたのですが、豆腐ハンバーグはすごく簡単ですね!ビックリしました。これだったら仮に材料が余っても別の料理に使いまわせるものばかりなのでぜひ自宅でチャレンジしたいと思います。

(答え) ☺のボールを持っています。

からしだねワークスより ご報告

からしだねワークスは今年度より「就労継続支援B型事業所」として、新しい一歩を踏み出しました。まだまだ不慣れなことばかりですが、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

大きな変化としては、利用者さんたちに「会社」のようなイメージを持って働きに来ていただきたいという願いから、ワークスの就労の場を「夢現会社タランツ」という名前にしたことです。

【 イメージ図 】

本当の会社ではありません！
でも、本当の会社のように、
みんなで働きます。

みんなが自分の得意なタ
ラント（能力）を出し合
って精一杯働きます。

社会福祉法人ミッションからしだね
本 部

精神障害者
地域生活支援センター
からしだねセンター

地域活動支援センター
相談支援事業所

就労継続支援B型事業所からしだねワークス
(障害者支援をする福祉施設)

夢現会社 タランツ

(利用者と職員が「スタッフ《社員》」として、以下の「営業所」で働く「会社」のような仕事場になります。この「会社」の名前を「夢現会社タランツ」と命名しました)

カフェトラ
イアングル
部

配食サービス部

印刷製本
出版部

その他
の事業

総務部

みんなが私を支えて
くれています。

しっかり働いて、たくさん
お給料をもらおう！

責任を持って働かって
すてきなこと・・・

私も他のスタッフを
支えています。

仕事を通して、地域と関わり、
社会の一員としての責任を
果たします

みんなで協力して目標
を達成する感動・・・

そして、こころも体も充実
したゆとりのある生活を
しよう！

「夢現会社タランツ」の意味は・・・

タラント(Talent)とは聖書のマタイによる福音書 25 章 14 節に出てくる通貨の単位です。すべての人は、神様から特別なタラント（能力）を与えられています。みんなのタラントを持ち寄ってタラントの複数形(Talents)にし、夢を現実にできる「会社」を作ろう、という意味を込めました。

新しい体制になって思うこと

からしだねワークスは、この4月より「障害者自立支援法」の「就労継続支援B型事業所」に移行しました。サービスの中身や作業の内容が大きく変わったわけではありませんが、押さえておかなければならない大切なポイントがいくつもあり、新体制に入ってからでも試行錯誤を繰り返しながら、もれのない仕組みづくりに取り組んでいるところです。



抛って立つ法律と制度が変わることで費やした時間と労力は大きいものでした。今後はそれらが無駄にせず、より良い事業所へと変化していくチャンスにしたいと願っています。

さて、アメリカの神学者・倫理学者であるラインホールド・ニーバーがこんな祈りを残しています。「神よ、変えることができるものを変える勇気を、変えることができないものを受け入れる冷静さを、そして、変えることができるものと変えることができないものを見極める知恵を与えたまえ」

からしだねワークスは、精神障害者の就労支援を行う福祉施設ですが、そこで利用者の皆さんが取り組んでおられることは、この祈りのように、自らの「変えることができる障碍（*「しょうがい」「碍」は「壁となるもの」を表します）」と「変えることができない障碍」を見極め、勇気をもってそこに立ち向かっていくことではないかと思えます。

「変えることができる障碍」が何で、「変えることができない障碍」が何なのかは、本人にしかわかりませんし、それを見極めようとするときには、自分の弱さや甘え、認めたくない現実と向き合わなければなりません。それはとても厳しい孤独な作業です。

統合失調症などの病気、周囲の無理解や偏見、本人の性格や傾向性、得手不得手、才能、どんな親や家庭環境のもとに生まれついたか、良い師や友に巡り合えたか・・・等々。よく考えると、人が生きていくということは、良いと思われることも悪いと思われることもすべてが障碍になり得るものです。

そう考えると、からしだねワークス利用者の皆さんと、私たち職員との差は、「精神障害」という障碍があるかないかという一点に絞られ、その他の障碍は等しく皆、様々に背負わされているということになります。

利用者の皆さんは、「よりよく生きたい」という願いを持ち、そのための手立てとして「働く」という大きな「変化」を求めてここに来られました。一步踏み出すには、大変なエネルギーと勇気が必要だったと思います。「変わる必要なんかない」と思う人にとって、それはただの徒労に過ぎないでしょう。なんの変化も求めないという生き方を選択することも可能だったと思います。

だからこそ、職員である私は自らの襟を正さずにはいられないのです。

私は、よりよく生きることを求めているか？

私の中の「変えることができる障碍」と、「変えることができない障碍」を見極める知恵を求めているか？

自らの障碍と対峙する勇気を持って、そこに立ち続けているか？

支援者としてワークス利用者の皆さんの傍らに立つ「資格」があるとしたら、これらの問いをみずからに問い続けることができるかどうかだと思います。そしてそれは、よりよい生き方を目指して自分とたたかっている利用者の皆さんへの最低限のマナーでもあると思うのです。

（からしだねワークス職員 M・S 記）

《業務日報より

タラントスタッフの声 もろもろ…》

部署ごとに、いろんな仕事があつて、1人1人仕事をがんばっているなど実習で感じました。カフェのお客様でコーヒーが飲めない人にも、すぐ対応してるのにはびっくり！私にできるかな…

カフェで食べてるときに思ったんですが、各テーブルにメニューがあつたらいいなあと思いました。(追加とかする時、パッと見れると思いますし…)

厨房の方々、朝早くからありがとうございます！

お子様づれのお客様はサポートサービスする所がたくさんなので、どんどん手を貸させてもらおうと思ひます

閉店時間を聞かれたので、ていねいに答えました。

Nさんは電話越しにととてもいねいに受け答えをしてくださいます。安心します。

Hさんが厨房におられるとほっとします。

Mさんに、パウンドケーキの時間を聞きました。すると3階まで電話をしてくれて温度を確認してくれはってとてもいねいでした。ありがとうございました。プラスできる人やあー。

チームプレイを意識した働き方は、時間の節約にもなるということ学びました。

鍋にさわった、熱くてやけどしそうになりました。

僕が洗いものをしているときには、Oさんが床の掃除をしてくれるので、いつも助かっています。

Iさんは、オーダーをとるとき、ちゃんと復唱していて、お客様の安心とこちらの確認をしっかりできています。

Bさんが、一人では難しい作業を進んで手伝ってくださるところ。

Kさんは先へ先へ考えながら的確に行動されている。

新人ふたりは優秀です。

自分だけで作業を進めてしまわないで、他の人に手伝ってもらうことも考えながら作業をしていくの必要かなと思いました。

床がぬれてたらモップでふきとったらどうでしょうか？

これから暑くなるので、食中毒に注意しなければいけない！金曜日のミーティングは有意義でした。みんなの意識向上になると思ひます。

Yさんにオムライスの味が濃いことを注意されました。率直な忠告をありがとうございます。

考えすぎて、緊張が暴走して、スープを入れるのが大変でした。もっと慣れて落ち着いて作業したいです。

いろいろOさんが話をして場を和ませてくれます。

事務作業のとき、なぜかテブちゃん【犬】が30分くらい横にいました。

ハンバーグがぱさぱさしているのが残念。作り方を変えてみたらどうか？

Rさんはこちらのスピードに合わせて洗い物をしてくださっていると思ひます。助かります。

鉄板をしめるときに中指をはさんだ。作業中、しばらく痛かった。

最近、体がだるくて、眠かったりして、おもわくありません。

あわてるとミスが出るので、落ち着いて作業をするよう心がけます。

お客様の料理についての感想が聞きたいです。アンケートなどを是非。

Mさんのオーダー内線の受け答えが良かったと思ひます。

がんばった自分をほめてあげた

今日は、Aさんもいっしょなので、なにかと助かりました。

い

2階の作業室で女性の皆さんが事務作業をしておられるのなんかいい雰囲気です。

Tさんは、会議のとき、よい意見を言われるなあと思ひます。

Yさんがテキパキ対応してくださって、私は自分のペースで作業させて頂く事ができました。

今日はよくお客様に「ありがとう」と言ってもらいました。

今日はあまり体調がよくなくて、最初はぼーっとしていたけど、やるべきことはきちんと取り組んだ。明日のために体調をととのえようと思ひます。

やはりチームワークは大切だと思ひました。今日うまくいったと思ひます。

Yさんは掃除のプロみたいですよ。

Yさんに「しんどくないですか？」と色々軽作業を代わってもらい、助けられました。

Oさんは、Jミの分別もしっかりされていて、プラスチックかどうか、厳しく見ていらっしやいます。

脚立を持ち上げられなくて困っていると、Bさんが助けてくれました。**やさしい人**です。

代表者ミーティングは、からしだねの全体像が見れた気がしてよかった。

最近からしだね館がきれいです。清掃スタッフのおかげかな・・・。

作業中に気づいたこと。あまり思いつめないようにする。わからないことはとにかく聞く。笑顔をとあいさつはしっかりとする。人の名前もゆっくりおぼえていこう。新しい作業あせらず覚えていく。

Cさんは手紙をすごくいいに書かれていて、私も**見習おう**と思った。

カフェの中ですが、全体的にいつもより汚れていました。ひまな時間にふけてよかったです。気がついた人だけがふくよりは、一緒にスタッフどうしてふくほうが、みんな意識できるかなと思います。

接客の作業ではないが、カフェを通るとき、ついお客様の方向を向いて、「**にこっ**」としてしまう。悪いことではないですよね？

初めてのお客様には、よりのいいに声かけするようにしたいです。

Hさんは、細かいところまで目が届く。仕事がていねいだ。

手紙を書くとき、最初はなぜか手がふるえて書きにくかったが、続けて書いているとおさまった。すぐに「できない」と決めるのはよくないことだとわかった。

お客様のもとに行く食べ物なので、仕上げのとき、洗い物のとき、丁寧にしないと、と思いました。

Dさんが、「大変だったら言ってください」と言ってくださり、ありがたかったです。

実習のSさんは、とてもハキハキしていて、わからないところは積極的に主任に質問していらして、感心しました。

Hさんが、ふだん、気になるけれど、なかなかできないところをていねいにきれいに清掃されました。誰の目から見ても、きれいにされました。

私がパニックになっていたり、あわててるとき、Hさんが、**手助け**してくださるときがあり、感謝しています。

Jさんは、今日も洗い物やネットがえをしっかりとってくださいました。

Gさんは、元気でめっちゃがんばってはって、なんか**自然にがんばれる雰囲気**の人です。

閉店業務を**教える側**になって、わかっていなかったところや、ぬけているところもあって、こっちのほうが教えられました。

Hさんが、前日に調理に必要な食材、調味料をそろえてくれているので、当日楽に作業に入れます。

KさんがTシャツを棚に入れやすいようにたたみなおしてらした。リネン担当だからというのもあるかもしれないが、とてもよいなあと思いました。



印刷製本事業 始めました



夢現会社タラントでは、この4月より、印刷製本事業を開始しました。からしだねワークスの顧問医である工藤信夫先生（精神科医、平安女学院大学名誉教授）の2冊の本の再版を請け負わせていただきました。

「心で見る世界」(1,200円) 工藤信夫著
 「女性の四季」(1,200円) 工藤信夫著



作業にあたったスタッフも読ませていただきましたが、20年以上前の本であるにもかかわらず、今の時代を生きる私たちに向かって書かれたのではないかと思うような内容で、この仕事をさせていただいてよかったと痛感しました。

その他、自分史、短歌・俳句集、資料集、報告書、論文、文集などの制作も承ります。また、チラシのデザインや印刷もお引き受けします。お客様のご要望をていねいにお聞きして1冊からでもお作りしますので、関心のある方はからしだねワークスまで、是非お気軽にお声かけください。

電話: 075-574-4455 mail: works@karashidane.or.jp (鍋島)



《ミッションからしだねご寄付・ご寄贈者名簿 *順不同 敬称略 2010年4月~2011年6月》

(有)ほっぷ 北村武司 坂本淳二 川崎孝彦 蒲池国光 蒲池ヒロ子 藤田明子 インマヌエル京都西キリスト教会
 榊朱常分店取締役社長内田吉治 京都府精神保健職親会 百々地域女性会 箱田結 武山世里子 佐倉富男 松野靖 サウ
 ンドエコース 一勉会 坂岡恵 福井義一 鍋島愛信 井垣道子 コーラス つばきの会なでしこ イマヌエル京都伏見教会
 田中義信 吉村和記 ミッションからしだね後援会 濱名正子 鮫島福子 榎本貴夫 川上俊次 川上満代 一木訓治
 森川次男 鍋島泰雄 中土井信昭 三好徳昌 協労務管理事務所 税理士法人ブレインズ 野田秀

《**万が一記載もれがございましたら、ご一報くださいませ。**》

《からしだね後援会からのお願い》

- ☆ からしだね館が地域に根ざした福祉施設としてよりよいサービスを提供できるよう、皆様のご協力とご支援がどうしても必要です。どうぞ、ご友人やお知り合いの方々にもお声かけください。一人でも多くの皆様に後援会にご入会いただきますよう、よろしく願いいたします。
- ☆ また会員の皆様には、引き続きご協力を、よろしく願いいたします。

【後援会年会費 個人会員 1口 3,600円 団体会員(法人又は団体) 1口 10,000円】

郵便振替 口座記号番号00970-2-222380

加入者名 社会福祉法人ミッションからしだね後援会

* 同封の郵便局の振替用紙(払込取扱票)をご使用ください。

(すでに今年度会費をご納入の会員様には申し訳ございません。)

* 法人へのご寄付も同じ振込用紙をご使用いただけます。その場合は、備考欄に「法人への寄付」と、ご記入くださいませ。

* 寄付金控除用の領収証が必要な方は、通信欄にその旨ご記入又はご連絡ください。

(TEL 075-574-2800)



【後援会ご協力者名簿 2010年4月~2011年3月納入分 五十音順・敬称略】

【個人】青木秀次、青木美弥子、青山郁夫、赤澤玲子、浅野純江、有岡満、飯村三次郎、石川裕二、泉恵子、一木訓治、一木茂子、茨木恵子、岩井虔、江口真理、榎本貴夫、大久保和子、貝出久美子、梶村慎吾、兼松哲夫、兼松好子、蒲池国光、蒲池ヒロ子、北山繁美、京野隆之、工楽康代、倉信彰義、小金丸幹夫、近藤長太郎、佐竹紀美子、島田喜代子、新谷正明、進藤美奈子、砂川和世、砂川祐司、砂川靖子、砂地一廣、宗真理子、高田全康、高宮郁子、竹内和利、竹村富士雄 竹本コズエ、武山忠弘、竹山隆造、立石昭三、千綿一哉、土屋思乃扶、鳥居恒子、永田千種、中土井信昭、中西和子、中西雅子、中原昇、中村裕子、奈倉道隆、名田笑子、鍋島泰雄、鍋島久代、生川鉄兵、野田秀、原口熱美、姫野真知夫、広岡貞之、藤井茂、藤井和子、藤井久美子、藤田明子、古市洋、細見忠雄、前田三喜雄、松井和雄、松井孝典、松田和代、松溪憲雄、松村里美、三木国恵、宮崎美枝、村上理郎、村上良江、矢嶋喜美子、保福正三、山崎恵子、山本公平

【団体】インマヌエル京都伏見キリスト教会、インマヌエル枚方キリスト教会、京都紫野ホーリネス教会、京都橘大学看護学部精神看護学、コーラス同好会早蕨、ヌヴェール愛徳修道会本部修道院 一筆画「雅」、税理士法人明正マネジメント

【後援会ご協力者名簿 2011年4月~2011年5月納入分 五十音順・敬称略】

【個人】江川みゆき、榎本貴夫、加瀬裕子(早大)、兼松哲夫、兼松好子、蒲池国光、蒲池ヒロ子、松野靖、吉田功、渡辺昇

【団体】アンバーウェブ、T. S. N、みたまキリスト教会、一筆画「雅」

《**万が一記載漏れがございましたら、ご一報くださいませ**》

△△△△△△△△△△【編集後記 & 東日本大震災 支援活動のご報告】△△△△△△△△△△

関東東北地方を襲った大地震と大津波…。被害にあわれた方々、お亡くなりになった方々、家族や親しい人を亡くされた方々、今も行方がわからない方々……。心よりお見舞い申し上げます。からしだね館もカイトライアグルで、支援クッキーの販売、コーヒーの売上げの一部募金等支援活動を行い、173,307円を京都新聞社会福祉事業団を通じて被災地にお送りしました。ご協力くださった皆様、心より感謝申し上げます。今後も引き続き、なんらかの形で支援を続けていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。猛暑を前に、関西電力からは15%の節電という数字が出されました。震災を通して、仕事や生活のあり方の見直しについて考えさせられています。

《編集担当者》